

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡山市立興除小学校（※正式名称を記載）

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒701-0213

岡山市南区中睦593

E-mail kojos@city-okayama.ed.jp

Website

幼児児童生徒数 男子 96 名 女子 109 名 合計 205 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

（1）活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

当校は、「地球を愛し地球に学ぶプロジェクト」を活動のテーマとしている。そして、「郷土の先人の開拓精神に学ぶ」「今を生きる郷土の人々に学ぶ」「郷土の未来を担う夢あふれた心を育てる」の 3 つの視点から、ESD の取り組みを進めている。それを通して、日ごろ意識することのないような「人」・「もの」とふれあい、地域のよさを発見すること、郷土の歴史と現在を見つめ、自分自身の生き方についても考えを深めていくことを目標とした。

具体的には、年間を通じて、地域の特色や特産であるいちごや米などを育てることにより、地域について考える意識を継続して持ち続けること、地域の歴史や先人の苦労や知恵、開拓精神を学び、郷土を愛する気持ちを持ち続けることを柱に、①いちご作りに係わる学習、②米作りに係わる学習を行った。

① いちご作りに係わる学習

- ・学区に在住の「いちご作り名人」「伝統料理『ふなめし』作りの名人」などの知恵や努力、郷土を愛する思いを知り、「ミニ名人」を目指す活動をしている。そのひとつとして、いちご作りに挑戦した。
- ・いちご農家の方に指導を受けて栽培し、農家の方の苦労や工夫、思いなどを学び（視点 2）、学習の成果を下学年や保護者（地域の方）に発信した。

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

② ▼米作りに係わる学習

- ・地域在住の方やJA興除の協力をいただき、苗作りから収穫までの米作りを体験する。
- ・手作業で行う田植え・草ぬき・稲刈りなど、昔の人々の苦労を追体験しながら感じたことと、社会科の学習で学んだ日本の農業の課題と結びつけながら、農業の過去・現在・未来について考えをまとめ、上記した3つの視点について、郷土の農業という切り口で具体化した学習の成果を発信した。



① 3年「いちご作りに係わる学習」の写真（ハウスの見学）



② 「米作りに係る学習」の写真（米作り感謝の会）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

いちごに関する絵本・図鑑など 米作りに関する絵本・図鑑・資料など 農業・干拓・郷土史などに関するウェブサイト
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

- ・いちご作りは3年生、米作りは5年生に、総合的な学習の時間を中心に位置づけている。
- ・それぞれの学習課程ごとに、育てたい資質・能力を定めて、年間計画に沿って計画的に指導していく。
- ・体験学習、調べ学習、思考ツールを用いた話し合い活動を効果的に取り入れている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

- ・各学年の年間指導計画に、いちご作り・米作りなど地域とつながる内容について各教科、総合的な学習、特別活動などで横断的に取り組めるように位置づけている。
- ・全教職員でESDについて共通理解し、取り組んでいる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

- ・ユネスコスクールとしての活動を各学年の発表会や学習発表会、学校便りなどを通じて地域へ発信した。アンケート等で保護者・地域の方々から高い評価を得ることができている。また、校内においては、年度末に全教職員で取り組みの反省を行った。児童にとって効果的な学習となっており、継続していくことを確認した。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

- ・学習した内容(書籍・インターネット・インタビュー等で調べた事や自分達が活動したこと等)は、そのつど学級・学年で発表し合い情報を交換し合い、共有した。
- ・学習発表会や感謝の会などで、保護者や地域の方々にも、本校のESD活動活動の成果を発信している。
- ・地域の主産業である米作りについては、特に地域の方から積極的な協力が得られた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

- ・今年度は、他団体との積極的な交流は行っていないが、来年度は計画に様々な団体と協働・交流・ネットワーク形成などをすすめるようにしたい。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

- ・今年度は、他団体との積極的な交流は行っていないが、来年度は計画に様々な団体と協働・交流・ネットワーク形成などをすすめるようにしたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

- ・「いちご作り」に係わる学習
郷土興除でいちご作りをしている方に協力していただきながら、いちご作りを体験する。そして、いちごにかける思い、それを通して郷土を愛する気持ちを学ぶ。
- ・「米作り」に係わる学習
地域在住の方やJA興除の協力をいただき、苗作りから収穫までの米作りを体験する。米作りの現在の課題や干拓時代の苦労・先人の知恵等を多角的・多面的に考える。
- ・「昔遊び」に係わる学習
昔から伝わる遊び（けん玉・こま回し・お手玉・あやとりなど）に取り組み、友達同士で教え合ったり、地域の方々に教えて頂いたりする。地域の方々とのつながりをもつようにする。
- ・様々な活動を通して、興除には郷土を愛する人々がたくさんおり、その方々の思いに気づき、伝えていくことができるようにしたい。